気象データ活用による空港オペレーション最適化と防災対策



株式会社ウェザーニューズ
航空気象事業部
後藤　研





目 次

会社紹介

空港運営を脅かす気象的リスクとテーマ

課題解決を支援するウェザーニューズのコンテンツ

会社紹介

weathernews

設立日

1986年 6月

上場市場

東証プライム市場

本社所在地

千葉県千葉市美浜区中瀬1-3
幕張テクノガーデン

売上高

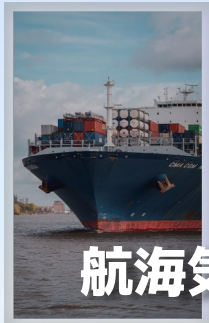
244.7 億万円（2026年5月期）

社員数

1,105 人（2026年5月31日現在）



50ヶ国　2,600社　45市場



10,000隻/年

航海気象



高速道路（国内）
9,800 km
鉄道（国内）
21,000 km

陸上気象



世界 **87** 社
23,000便/日

航空気象



スマートフォンアプリ
5,500万ダウンロード
インターネットコンテンツ
登録者数**160万**人

モバイル インターネット

空港運営を脅かす　気象的リスクとテーマ

空港利用者への対応

状況把握の遅れによる手動手配・意思決定の遅延



現場作業の安全管理

省人化の中で問われる現場の安全と判断平準化



二次交通への影響把握

データ分断による旅客滞留・混雑案内の遅れ



空港の安全管理

データ可視化不足による初動遅延とBCP形骸化



空港運営を脅かす　気象的リスクとテーマ

航空・鉄道・道路・施設まで――
あらゆる交通インフラを支えてきた総合知見で、空港が直面する複合的な課題を解決します

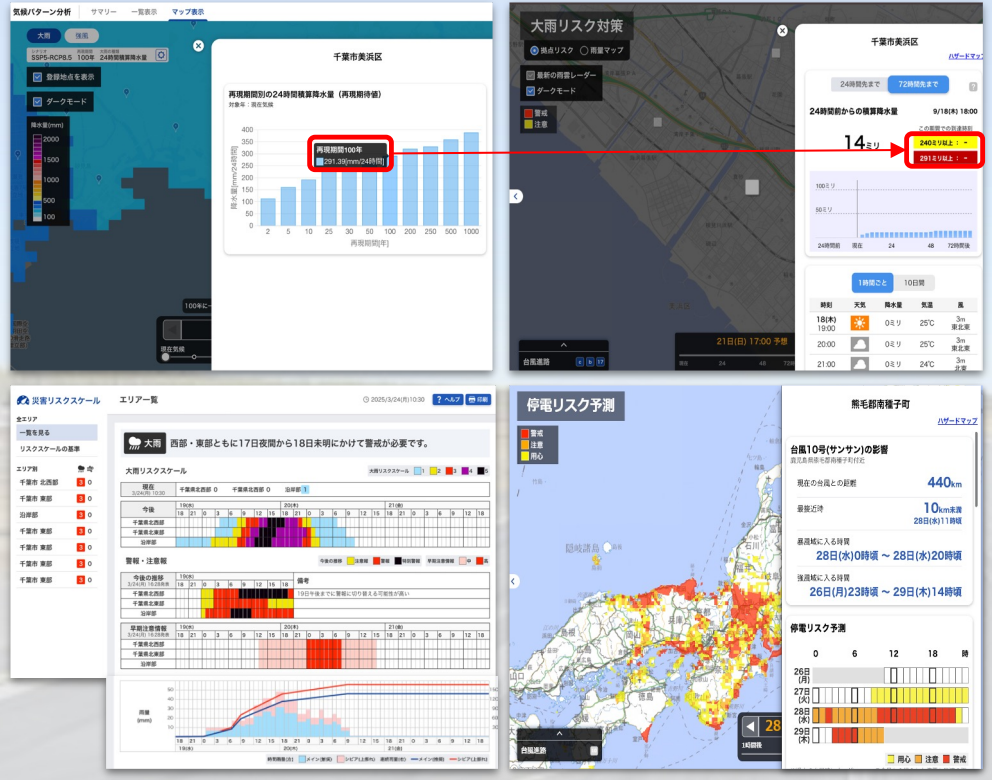


WNIプラットフォームによるDX化

- 空港全体のBCP支援
- 2次交通影響把握支援(鉄道・道路)
- フライト遅延把握支援
- 凍結・除雪対策支援
- 落雷避難判断支援

SWIMデータ

空港全体のBCP支援

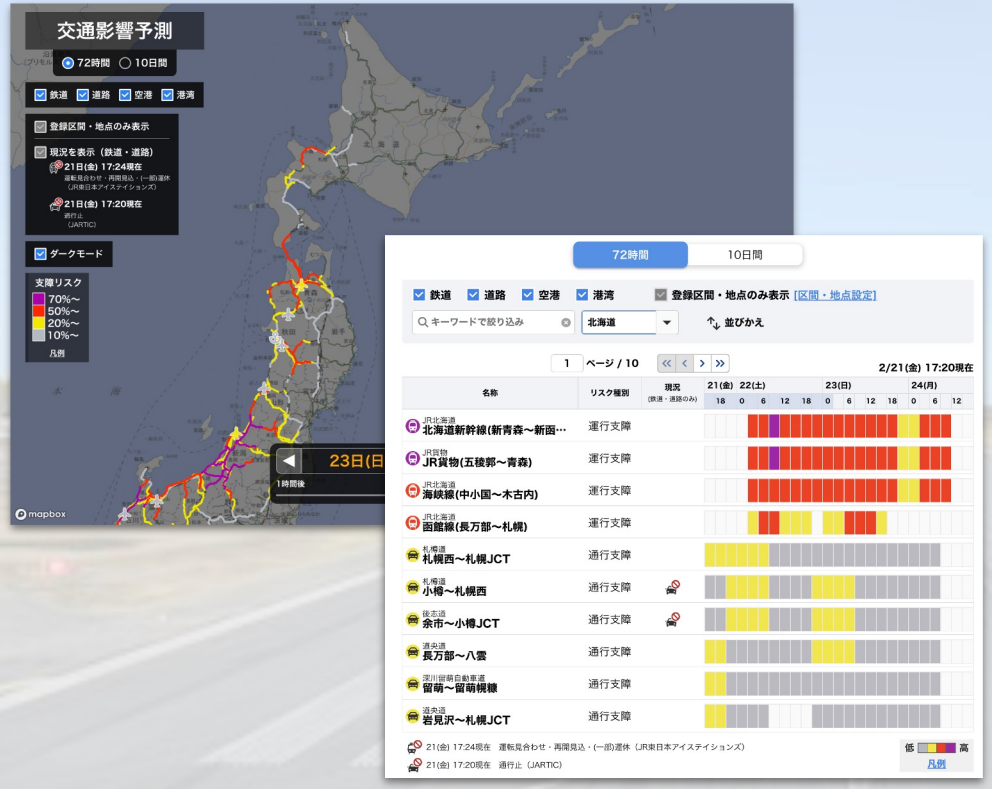


- 地域特性を把握した、空港における大雨・台風・高潮等の気候リスクを分析
- 分析結果をリスク判断閾値として設定
- 大雨による浸水リスクや、停電予測を72時間先まで提供

対策本部の立ち上げや
実際の防災対策を支援

空港機能の麻痺に対する
早期事前対策を実現

2次交通影響把握支援（鉄道・道路）



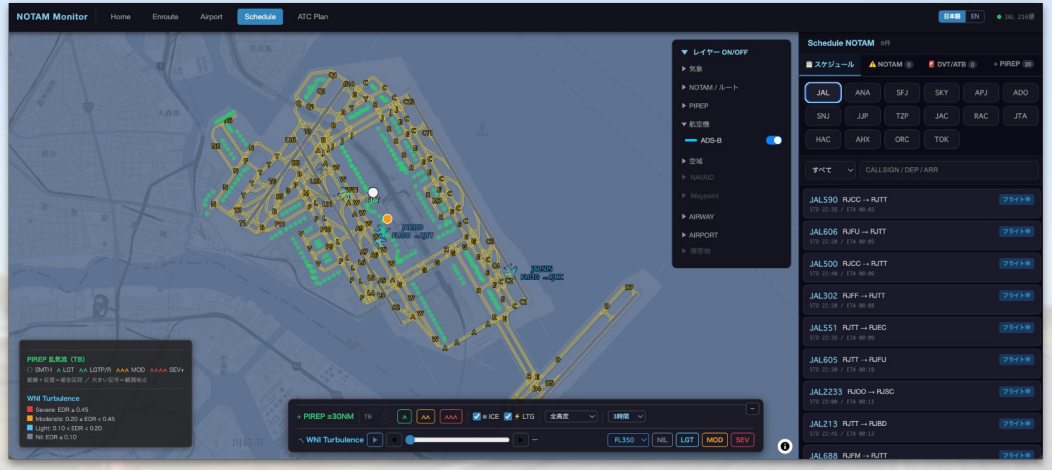
- **鉄道沿線や高速道路の遅延・運休可能性の予測を提供**
  ※鉄道会社、高速道路会社はWNIの予測をもとに運休や計画的通行止め判断を実施
- **空港への影響も可視化**
  鉄道沿線や高速道路は実況も反映

アクセス遮断前の早期アナウンスの実現

空港滞留者の発生などの
ターミナル内の混乱の防止

空港職員の出退勤の安全確保や
スケジュール管理の効率化

フライト遅延把握支援



- 航空会社の運航スケジュール
- NOTAMに記載のあるRWY情報
- SNOWTAM
- 航空機現在位置情報
- スポット使用状況

等をMap画面で一元的に把握

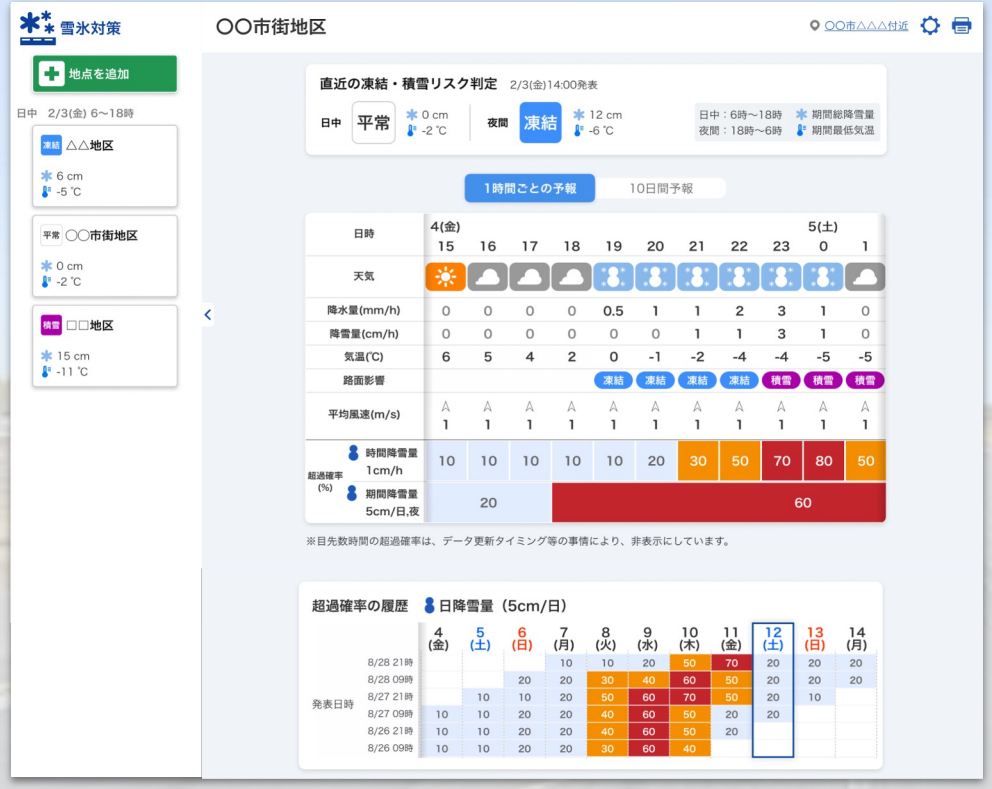
ADS-Bによる空港の混雑状況も可視化

遅延状況に合わせたバスの事前手配

地上作業の計画的な調整

ターミナル混雑対応や
乗客へのスムーズな案内を実現

凍結・除雪対策支援



- 路面温度予測と1時間降雪量に基づいた雪氷リスクを「平常/凍結注意/積雪注意」で判定
- 設定画面にて閾値を設定することで体制推薦リスクを表示
- 降雪量の基準値超過確率を確認可能

最適な除雪人員体制の判断支援

最適な除雪車出動タイミングの判断支援

融雪剤散布効率の最大化による
コスト削減と滑走路閉鎖時間の最小化

落雷避難判断支援



- 36時間先までの雷雨の可能性を発雷確率を「高・中・低」で表示
- 精度の高い目先1～3時間先の降水・落雷リスクの判定

アプローチ中の航空機への早期情報共有

落雷や大雨による事故防止への早期対策

まとめ

ウェザーニューズは、同じ情報での **組織全体の統一的な意思決定** による
空港オペレーションのDXと防災対策をトータルで支援します



WNIプラットフォームによるDX化

- 凍結・除雪対策支援
- 落雷避難判断支援
- 2次交通影響把握支援(鉄道・道路)
- フライト遅延把握支援
- 空港全体のBCP支援

SWIMデータ

weathernews

Thank you

& We are Always WITH you!

